



ラピユタ通信

【発行】
 特定非営利活動法人
 ラピユタ創造研究所
 〒915-0074 福井県
 越前市蓬莱町5-1
 TEL 0778-21-3190

平成 22 年度の総会を開催しました。

*** 現在、平成 22 年度の会員募集中です！ ***

去る5月29日(金)に、ラピユタ創造研究所の第7回総会を開催しました。

昨年度の主な事業は次の通りです。

- ・ 国府発掘調査事業
- ・ 古写真データの提供 (武生会議所機関紙「JP」表紙)
- ・ 蔵の辻視察団体への説明会・NPO 団体などへの講師派遣
- ・ たけふ暮らしの歳時記事業 (ラピユタ情報に歳時記記事掲載)
- ・ パーティー流儀研究事業
- ・ ラピユタ工房事業 (DM・文章作成など)
- ・ 情報発信事業 (通信、ホームページ、メルマガ「ラピユタ情報」)
- ・ まちづくり支援事業 (伊勢大神楽)
- ・ コミュニティサイト事業
- ・ ギャラリー・講座事業
- ・ otona の文化祭
- ・ きもの de 来武

本年度も一部変更はありますが上記事業を継続していきます。

・ 今年度の役員は以下の通りです。

理事長 竹本加良子

副理事長 木下元祐

理事 井上和治、大橋千尋、清水正一、山崎一之

監事 大久保恵子、藤原正敏

・ 本年度から、管理上の問題と近傍に同様な機能を備えたスペースができたことから、ギャラリー・講座事業を休止することになりました。

・ コミュニティサイト事業については、山伝製紙様から本年度の契約の継続を確認しています。

・ きもの de 来武につきましては、09 年度 第 18 回「とうとうたらり」をもって、これまでの形式による実行については一区切りつけ、新たな形式での開催を検討しています。

・ ラピユタ web サイトの充実に行い、武生の深い情報の発信サイトになるよう取り組んでいく予定です。

■武生風水ツアーを開催しました。

4月18日に武生風水ツアーを実施しました。

一昨年から取り組んできました武生の街作りを風水から考えた時にポイントとなる場所や、国府関連の場所を巡るツアーです。

今回のツアーは県内在住のホラー作家雀野日名子氏が、作品を作る上での取材を目的にラピユタにいらっしやっただけがきっかけです。井上さんの話に非常に興味を持っていただき、これは実際に現場を見ていただいて、作品の舞台に使っていただくのではないかとということになり企画を開始しました。

当日は10時集合し、ラピユタが荘園制の南の基点と考えている大塩八幡宮をスタートし北の基点船岡神社を目指しました。当日は雀野さんの他に東京の編集者の方も参加下さいました。



大塩八幡宮では御神木の夫婦木が折れているのにショックを受けましたが、地元の研究家の方に近傍のパワースポットに案内いただき、「隣の山と異なる赤い土のあの山は八代目卑弥呼の墳墓だ」などの説明に雰囲気も、もり上

っていきました。

次の引接寺では順徳天皇の御霊をお泊めした部屋を見せてもらいました。ついで龍泉寺→大虫神社へ、ここではご神体の大岩の由来について、編集者の方から各地に似た言い伝えがある話を聞きました。次の横根の観音では野生の猿の出迎えを受けつつ市内を展望、巨石が集められた飯部磐座神社を見学後、予定より大分遅れて船岡神社へと到着でしたが、皆に満足いただけたようでした。

今後も武生を知るツアーを考えていきたいと思っています。



雀野日名子さんのご紹介です。

- 2007年: 「あちん」で『幽』怪談文学賞短編部門大賞を受賞
- 2008年: 同作でデビュー。同年、「トンコ」で第15回日本ホラー小説大賞短編賞受賞。

雀野さんのサイト: <http://suzumenohinata.blog38.fc2.com/>

■山本源太夫社中による「伊勢大神楽総舞」が行われました

今年も6月6日(日)、蔵の辻にて山本源太夫社中による恒例の「伊勢大神楽総舞」が行われました。いままでは午後からの開始でしたが、今回は初めて午前10時半からの始まりとなり、お客様の入り(といってもオープンですが)が若干少なめ。しかもこの日は朝からかなり日差しが強く、観客席の椅子もあっちこっちで鑑賞には幾分ハードな環境となりました。



そんな中、獅子舞と放下(ほうか)芸の絶妙な組み合わせの総舞が繰り広げられ、初めて見る方には新鮮な驚きを、久々にみ

る方には懐かしさを感じていただけたのでは、と思いました。

毎回内容はほぼわかっていても、そのときのコンディションや演じる人の違いでさまざまに変化する、まさに「生きた芸能」。武生には約2カ月ほど滞在されている山本源太夫社中の皆さま。各家々を廻るお祓いも欠かせない「季節の風物詩」。いつまでもこの風景が残る「武生」であってほしいと思います。



■「まちなか商店街タイムトラベル」にあわせて古写真アーカイブ展を実施!

■ 再び「武生今昔物語」

6月6日(日)に開催された「まちなか商店街タイムトラベル」にあわせ、ラピュタの玄関先を使って、「古写真アーカイブ展-武生今昔物語-」を実施しました。昨年も開いたこの写真展は、武生古写真アーカイブのデータを使った古い町並みの写真と、同じ場所でデジカメを使って撮影した今の町並みの写真を比較展示するものです。大きな変化がある場所や、今も面影を残す場所、微妙に変化している建物など、昔の武生を知っている世代の方達には魅力的な企画のようで、いつも大人気。今回も、立ち止まって写真に見入る人、古写真を見ながら昔を思い出し懐かしがる人たち。多くの人達に足をとめて見て頂ける展示になりました。



ラピュタでは、古写真を収集しデジタルアーカイブ化を進めています。ご提供いただける写真がありましたら、ぜひ、ご連絡ください。

■吉田逸平さん作「スマイルこぼし」を販売します

2005年辻灯りウエディングの時に、天使の陶人形をたくさん作ってくださった吉田逸平さん製作の「スマイルこぼし」を、ラピュタ Web サイトで販売することになりました。今年の越前陶芸祭りでも大人気の品です。

1体1500円~です。手作りのため製作に1ヶ月程度かかります。



ラピュタ用にオーケストラバージョンを作ってくださいました。近日中にサイト更新しますので、購入希望の方はしばらくお待ちください

■仁愛短期大学の藤原研究室の学生さんに協力

今年も仁愛短期大学の藤原研究室の卒業研究に協力することになりました。今年は、テキストマイニング班と古写真アーカイブ班に分かれて取り組むそうです。

先日、古写真アーカイブ班と打ち合わせを行いました。二人の学生とも興味を持って聞いていただき、単純なWEBサイトの作成だけでなく、ストーリーを与えた内容にしてはどうでしょうかと提案いたしました。取り組みはこれからが本番ですが、どんな結果がでてくるか楽しみです。

ラピュタとしてもこれまでのK/Hや情報を提供していきたいと考えています。



■村国山遠足で拾った「どんぐり」が育ちました。

三田村和夫画伯から去年の村国山遠足で拾ってきたどんぐりが育ったということで、苗と記録をもってきていただきました。3ヶ月これだけ育つのですね。どんぐりって遅い!



3/22
芽が出て



6/9
立派な葉が!



私たちは、持続可能な地域社会をめざします

Laputa

〒915-0074 福井県越前市蓬萊町5-1
TEL 0778-21-3190 FAX 0778-21-0676
e-Mail info@laputa21.com
ホームページ http://laputa21.com/